



ALSO プロバイダコース in 小倉医療センター

SEPTEMBER 2024

Advanced Life Support in Obstetrics

Advanced Life Support in Obstetrics(ALSO)とは、医師やその他の医療プロバイダーが、周産期救急に効果的に対処できる知識や能力を発展・維持するための教育コースです。1991年にACLSとATLSに基づいて、ウィスコンシン州の一般診療医師二人がALSOを考案したものであり、1993年にコース権利American Academy of Family Physicians(AAFP-米国家家庭医学会)によって認可され、現在全米ではほとんどの分娩施設において、分娩に関わる医療プロバイダーがALSOの受講を義務づけられています。またALSOコースは世界的に普及活動が行われており、2009年までに、50カ国以上でプロバイダコースが開催されています。

コースの内容は、事前にe-learningで学習していただき、2日間かけてグループワーク、症例検討、そしてマネキンを使用した実技ワークステーションを行うコースを予定しています。ALSOはLDRにおける産科の救急的対処を強調していますが、その他に出産前のリスク評価、妊娠中の合併症管理、出産危機における両親のサポート、そしてチームトレーニングといったテーマも含まれています。実技のワークステーションでは、少人数グループで、肩甲難産、胎位・胎向異常、補助経膣分娩、分娩時異常出血の4つについて、多職種間でメンタルモデルを共有できるように、楽しく学んでいただきたいと考えています。

コースには、筆記試験とマネキンを用いた実技試験(メガデリバリー)を行います。プロバイダコースに合格すると、受講生は3年間有効の認証を受けることができます。受講生は産婦人科医、プ

ライマリケア医、研修医、救急医、助産師、看護師、そして医学部生など対象としており、現在あるいは近未来の周産期医療体制において、分娩や産科救急に関わる可能性のあるすべての方が対象となります。産科救急医療は、産婦人科医だけではすでに成り立たない状況にあることは明らかです。日本全国のすべての地域でできるかぎり同じレベルの産科医療を維持するには、産科医療に関わりたいという志を持った人たちをトレーニングする場を多く提供し、医療チーム体制をあらゆる医療圏に確保する必要があります。まさにその足がかりとなるトレーニングコースがALSOです。

小倉医療センターでは2023年6月に九州ALSOのメッカである長崎医療センターの先生方に共同開催のお話を頂き、小倉医療センターで初めてALSOプロバイダーコースを開催することができました。今回、小倉医療センターでは3回目の開催となりますが、周産期医療の発展とともに参加頂いた受講生が満足できるコースとなるようにスタッフ一同精一杯準備してまいります。

是非ご応募お待ちしております。

国立病院機構小倉医療センター



小倉ALSO 代表 川上浩介

【開催要項】

日時: 令和6年9月21日(土) 12:30~18:00 予定

令和6年9月22日(日) 08:30~18:00 予定

場所: 国立病院機構小倉医療センター 新外来棟2階 大会議室

参加費用: 35,000円 受講者数: 24名を予定

1日目終了後に懇親会を予定しています♪

【募集期間】

令和6年7月8日(月)~7月15日(月)

【応募方法】

下記事務担当のメールアドレス (ishibashi.hiroki.yh@mail.hosp.go.jp) に

1.名前、2.ふりがな、3.ローマ字表記、4.所属病院、5.診療科、6.役職

7.職種(医師、助産師、看護師、その他)、8.卒業年度(西暦)

9.現住所(郵便番号から)、10.携帯電話番号

11.PCメールアドレス(携帯のアドレスはご遠慮ください)

* 受講の可否は、それぞれのメールアドレスに7月22日までにご連絡します。

* ご不明な点等ありましたら、下記お問い合わせ先までご連絡下さい。

【応募申込先】

国立病院機構小倉医療センター 小倉 ALSO 事務担当 産婦人科 石橋弘樹、宮原英之

MAIL : ishibashi.hiroki.yh@mail.hosp.go.jp



JR最寄駅から



車でのアクセス (高速利用)

